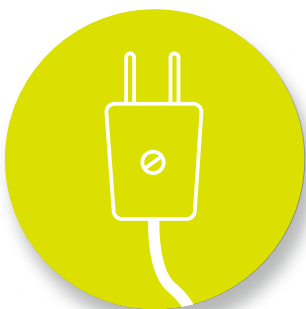
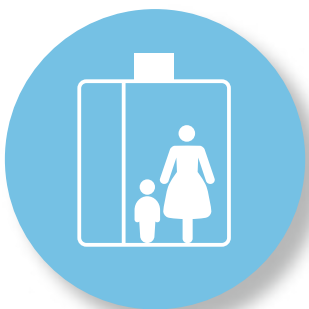
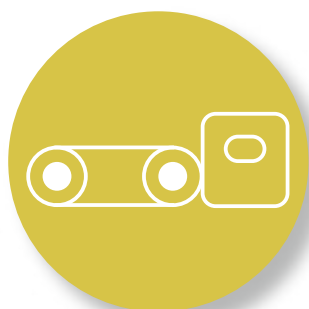
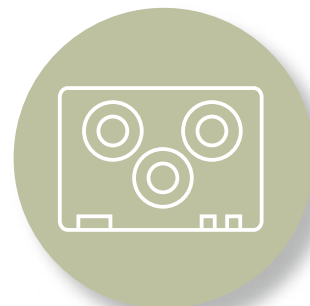
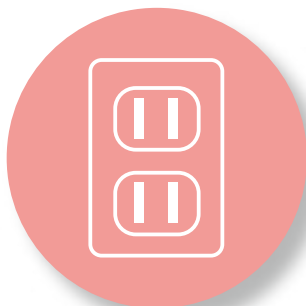
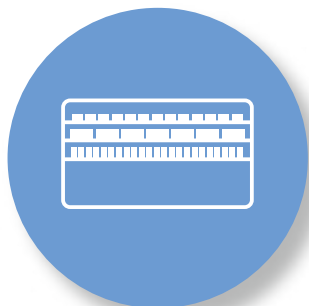
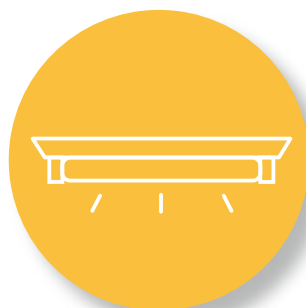
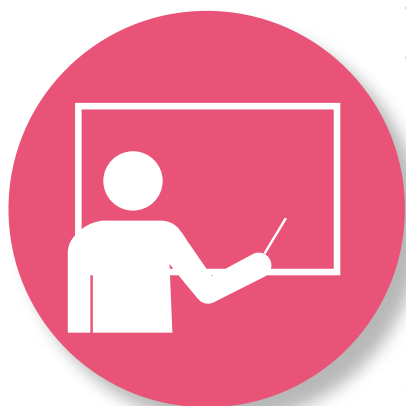


学校(小・中・高)における 節電方法のご紹介



ともに輝く明日のために。
Light up your future.





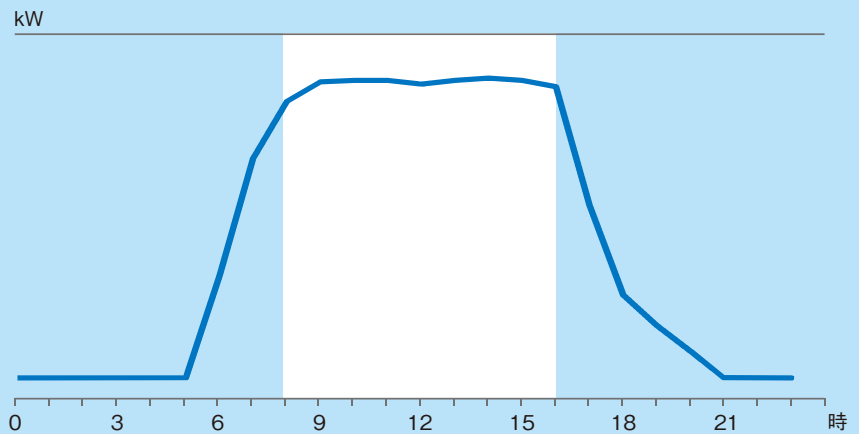
学校(小・中・高)における節電ポイントのご紹介

学校においては、**照明**の節電が非常に効果的なため、ぜひご協力ください。

1日の電気の使われ方 (夏期のピーク日)

- 一般的な学校においては、日中(8時~16時)に高い電力消費が続きます。

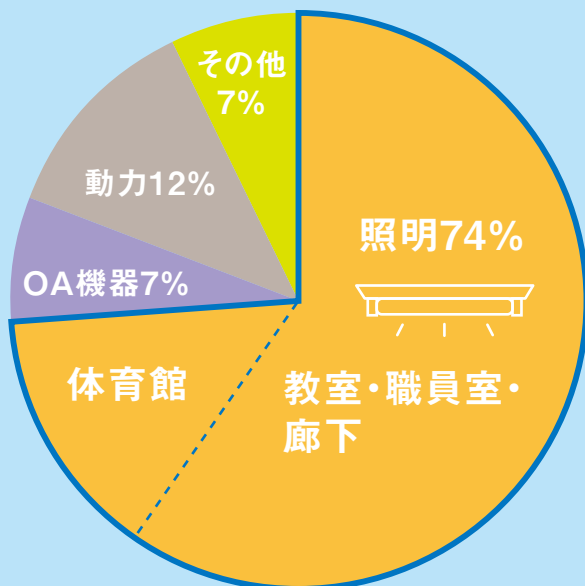
図1:公立小学校(事例)における電力需要カーブのイメージ



出典:資源エネルギー庁推計

電力消費の内訳(夏期のピーク時断面(例))

- 夏期の就学日におけるピーク時は、照明が約74%を占めています。(左グラフの照明比率の構成としては、概ね、体育館:教室・職員室・廊下=1:6となっています。)
- 教室部分に空調を設置していない場合が多いため、照明の比率が高くなっています。ただし、空調を設置している学校については空調の比率が高くなることに留意が必要です。



照明で約**74%**

図2:一般的な学校における用途別電力消費比率


出典:資源エネルギー庁推計

夏の節電チェックシート





建物全体に
対する
節電効果

チェック


電力消費の多い機器の節電にご協力をお願いします。

 照明	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、職員室、廊下の照明を間引きする。 	17% (約4割減の場合)	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・点灯方法や使用場所を工夫しながら体育館の照明を1/4程度間引きする。 	2%	

メンテナンスや日々の節電にもご協力をお願いします。

 照明	<ul style="list-style-type: none"> ・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。) 	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館等で使われる水銀ランプを、セラミックメタルハイドランプに交換する。 (水銀ランプをセラミックメタルハイドランプに交換した場合、約50%消費電力削減。) 	
 空調	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないエリア(教室、音楽室等)は空調を停止する。 	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・日射を遮るために、緑のカーテン、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルターを定期的に清掃する(2週間に一度程度が目安)。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特別教室(音楽室、コンピュータ室等)は連続利用する。 	
 コンセント 動力	<ul style="list-style-type: none"> ・プール水位調整のための給排水を少なくするよう工夫する。 	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・プール用水のろ過フィルタを清掃する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・待機電力を削減する(特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く)。 	
 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・献立や調理の工夫により食器等を減らして食器洗浄機を使用したり、熱風保管庫の使用時間帯をシフトするなど、ピーク電力を抑制する工夫をする。 	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い等、水の流し放し、水の出しすぎに注意する。 ・節水こま、泡沫水洗を使用する。 	

学校関係者への節電の啓発も大事です。

 節電啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒等に対する節電教育を行い、児童・生徒等の自発的な活動を推進する。 	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> ・節電担当者を決め、責任者(校長先生等)と関係者が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。 	

<h3>合 計</h3>	<input type="text" value=""/> %
--------------	---------------------------------

ご注意

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
- ・節電を意識しすぎるあまり、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意下さい。



学校(小・中・高)における節電ポイントのご紹介

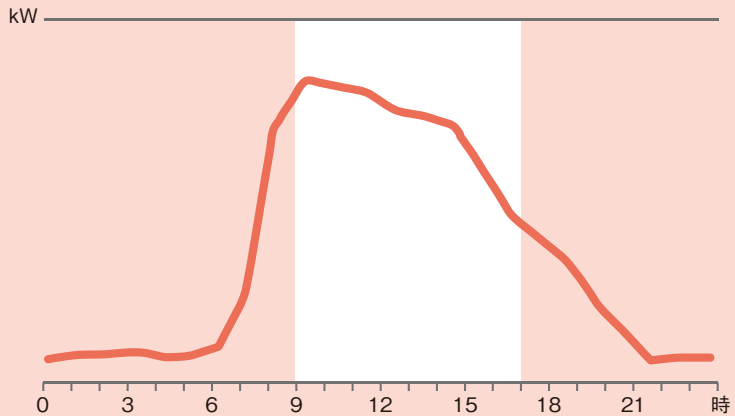
学校においては、**照明**の節電が非常に効果的なため、ぜひご協力ください。

※下記は、全国平均の電力消費となっています。
電気式の暖房機器をご使用のお客さまにおかれましては、**暖房**の節電も効果的となります。

1日の電気の使われ方 (冬期のピーク日)

- ・平均的な学校においては、日中(9時~17時)に高い電力消費が続きます。

図1:公立小学校(事例)における電力需要カーブのイメージ



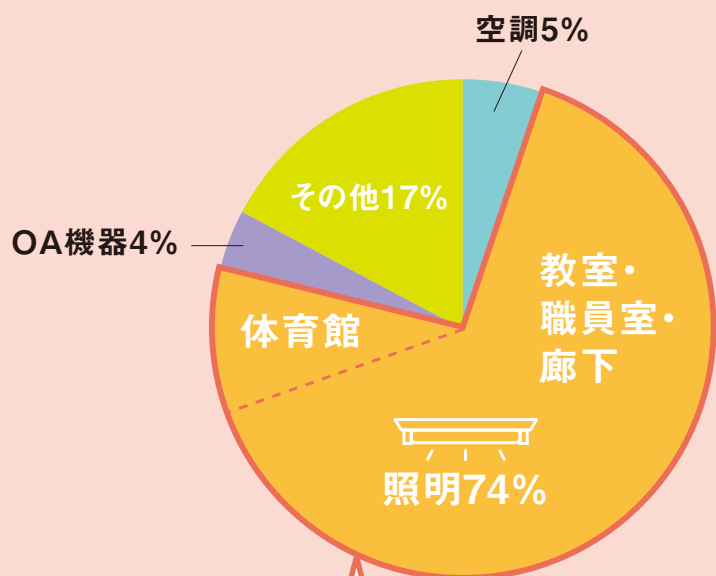
出典:資源エネルギー庁推計

電力消費の内訳 (冬期のピーク時断面(例))

- ・非電気式空調の場合、電力消費のうち、照明が約74%を占めます。
- ・したがって、照明に関する節電対策は特に効果的です。

※電気式空調の場合は、空調への節電対策も大きな効果となります。
※補助的に使用する暖房や、凍結防止等に電気ヒーターを利用されている場合は、可能な範囲で使用をお控えいただくと、節電効果が期待できます。

図2:一般的な学校における用途別電力消費比率




照明で約**74%**

冬の節電チェックシート





建物全体に
対する
節電効果

チェック


照明での基本アクションをお願いします。

 照明	・教室、職員室、廊下の照明を間引きする。	15% (約4割減の場合)	<input type="checkbox"/>
	・点灯方法や使用場所を工夫しながら体育館の照明を1/4程度間引きする。		

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします。

 照明	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)	<input type="checkbox"/>
	・体育館等で使われる水銀ランプを、セラミックメタルハライドランプに交換する。 (水銀ランプをセラミックメタルハライドランプに交換した場合、約50%消費電力削減。)	
 コンセント 動力	・待機電力を削減する。 (特に冬休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く。)	<input type="checkbox"/>
	・献立や調理の工夫により食器等を減らして食器洗浄機を使用するなど、ピーク電力を抑制する工夫をする。	<input type="checkbox"/>
 空調	・暖房エリアについて適切な温度設定を行う。	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリア(教室、音楽室等)は空調を停止する。	<input type="checkbox"/>
	・暖気を逃がさないよう窓には断熱フィルムを貼る。夕方以降は厚手のカーテン等を活用する。	<input type="checkbox"/>
	・特別教室(音楽室、コンピュータ室等)は連続利用する。	<input type="checkbox"/>
 その他	・電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。	<input type="checkbox"/>
	・手洗い等、水の流し放し、水の出しすぎに注意する。 ・節水こま、泡沫水洗を使用する。	<input type="checkbox"/>

学校関係者への節電の啓発も大事です。

 節電啓発	・児童・生徒等に対する節電教育を行い、児童・生徒等の自発的な活動を推進する。	<input type="checkbox"/>
	・節電担当者を決め、責任者(校長先生等)と関係者が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。	<input type="checkbox"/>
	・学校関係者に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。	<input type="checkbox"/>

合計

%

ご注意

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・非電気式空調における節電効果は僅かですが、適切な稼働抑制は使用燃料等の省エネに繋がります。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
- ・節電を意識しすぎるあまり、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものとならないようご注意ください。

「北海道エリアのでんき予報」のお知らせ

ほくでんホームページの「北海道エリアのでんき予報」では、ピーク時供給力や最大需要予測等の需給状況をお知らせしています。節電にご協力いただく際の参考として、ご活用ください。(翌日の予報は毎日17時頃に公表しております。)

■ほくでんホームページ「北海道エリアのでんき予報」(イメージ)



ピーク時予想使用率の色について

- 緑 色:安定的 (90%未満)
- 黄 色:やや厳しい (90%以上~95%未満)
- 濃い黄色:厳しい (95%以上~97%未満)
- 赤 色:非常に厳しい(97%以上)



節電に関するお問い合わせ

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
旭川支店 お客さまサービスグループ	0120-060-124	小樽支店 お客さまサービスグループ	0120-060-591
稚内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-135	余市ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-593
浜頓別ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-140	岩内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-596
名寄ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-167	倶知安ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-599
留萌ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-174		
深川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-192	釧路支店 お客さまサービスグループ	0120-060-669
富良野ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-195	中標津ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-674
		弟子屈ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-684
北見支店 お客さまサービスグループ	0120-060-219	根室ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-695
紋別ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-229		
遠軽ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-237	帯広支店 お客さまサービスグループ	0120-060-732
網走ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-239		
		室蘭支店 お客さまサービスグループ	0120-060-813
札幌支店 お客さまサービスグループ	0120-060-327		
札幌北ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-328	苫小牧支店 お客さまサービスグループ	0120-060-852
札幌西ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-329	富川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-853
札幌東ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-339	静内ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-854
札幌南ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-342	浦河ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-856
千歳ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-348		
		函館支店 お客さまサービスグループ	0120-060-912
岩見沢支店 お客さまサービスグループ	0120-060-408	八雲ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-913
滝川ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-409	江差ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-914
栗山ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-412	福島ネットワークセンター お客さまサービス課	0120-060-915

受付時間 平日 / 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願いします。

ともに輝く明日のために。
Light up your future.

